

クレイジースモール パスワードロム240

取扱説明書

製造開発元 cooyou.org

Made in Japan

https://cooyou.org/pwrom240

お問い合わせ admininfo@cooyou.org

仕様

製品名	クレイジースモール パスワードロム240
製品番号	CZSMPWRM240
JAN	4580618302407
付属品	取扱説明書、マスターパスワード記載紙
幅・奥行・高さ	46x21x38mm
重さ	23g
保証期間	6か月

注意 *必要以上の力を加えて操作することは変形、故障の原因となります
免責事項 本機の使用によるいかなる不利益、損害の責任も取りません。
紛失や故障に備えて2台同時運用を推奨します。
マスターパスワード記載の紙は本機とは別の場所で管理してください。
リバースエンジニアリングはセキュリティリスクとなりますのでご遠慮下さい

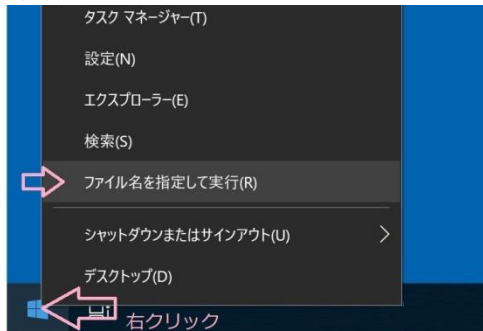
セットアップ

一般的な注意点

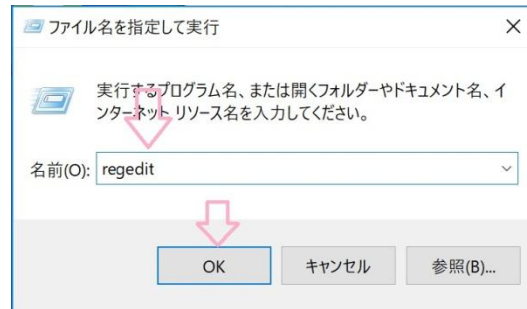
パスワードロム240はUS(英語)キーボードとして認識されることで正しく動作します。充電専用ケーブルですと認識されません。日本語キーボードとして認識されると、記号が正しくキーボード出力されませんのでOSでの設定変更が必要です。あらかじめ、テキストボックスなどの入力フォームにマウス等フォーカスを与えておいてからキーボード出力を行う必要があります。日本語変換のIME機能が有効になっていると正しく入力されません。IMEが無効の状態では半角の直接入力にしてから行う必要があります。また、各種入力補完の機能は無効化させておく必要があります。

Windows10での設定

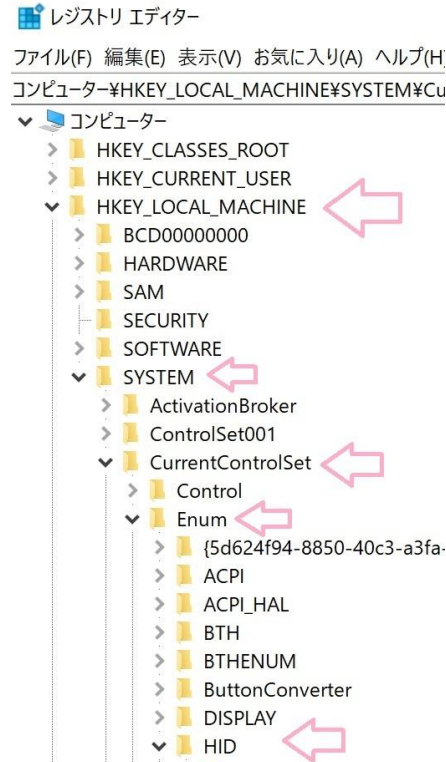
Windows10では日本語レイアウトとUSレイアウトのキーボードを併用するために以下の設定が必要です。ご利用中のパソコンのキーボードがUSキーボードの場合は以下の設定は不要です。一度、PCとUSBケーブルで接続して本体を自動認識させてください。その後、以下の設定によりパスワードロム240がUSキーボードとして認識されます。



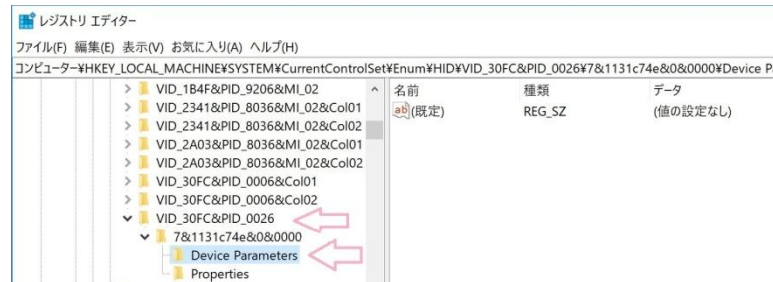
1. デスクトップ左下のウィンドウマークを右クリック。ファイル名を指定して実行を選択。



2. regeditと入力してOKボタンをクリック。ユーザーアカウントの制御ダイアログが出る場合はOKボタンを押します。



3. HKEY_LOCAL_MACHINE/SYSTEM/CurrentControlSet/Enum/HIDと辿ります。



4. さらにVID_30FC&PID_0026と辿ります。これがパスワードロム240の製品を表しています。その2階層下のDevice Parametersをクリックします。



5. 右側ペインで右クリックします。新規>DWORD(32ビット)値を選択します。KeyboardSubtypeOverrideと名前を付けます。同様にKeyboardTypeOverrideも作成します。作成間違いの場合は名前を右クリックして削除や名前の変更などを行うことができます。



6. KeyboardTypeOverrideをダブルクリックします。



7. 値のデータに4を入れてOKボタンをクリックします。



8. 値が変更されました。USキーボードを表しています。

9. 設定が終わりまりましたので、ウィンドウを閉じてください。パスワードROM240を再起動するとUSキーボードとして認識されます。

macOSでの設定



macOSの場合はデバイスごとにレイアウト設定が保存されるので初回接続時の設定画面での設定だけでUSキーボードと認識されま

す。パスワードROM240の右下のSWボタンを押した状態でUSBケーブルを接続します。3秒経ってからボタンを離します。

login-と表示されます。macOS上でキーボード設定画面が自動的に表示されます。

メッセージに従ってクリックすると、左シフト横のキーを押す画面が出ますので、

login-の一番左にカーソルがある状態で、左下のLボタンをクリックします。すると認識します。

次に右シフト横のキーを押す画面が出ますので、真ん中下ボタンのRボタンを4回押して、一番右にカーソルを移動してさらにRボタンを押します。

すると認識しますので、次の画面でレイアウトをUS(英語)設定を選択して終了します。

一度ケーブルを抜いてパスワードROM240を再起動するとUSキーボードとして認識されます。

Androidでの設定

パスワードROM240をUSBケーブルとOTGケーブルで接続します。物理キーボードの設定画面でUSキーボードを選択することで正しく認識されます。

設定一言語と入力物理キーボードをご確認ください。

ソフトウェアキーボードで半角直接入力用の英語キーボードに切り替えてからキーボード出力すると正しく動作します。

英語のソフトウェアキーボードの登録が無い場合は追加が必要です。

iOSでの設定

パスワードROM240をUSBケーブルとOTGケーブルで接続します。電源不足の表示が出る場合は、セルフ給電のUSBハブが必要です。パスワードROM240の接続が認識されると、設定一般-キーボード-物理キーボードで設定できます。

物理キーボードの設定画面でUSキーボードを選択することで正しく認識されます。各種入力補完のチェックはOFFにしておきます。

パスワードROM240の接続前にソフトウェアキーボードの地球マークで半角入力用のQWERTY入力用のキーボードに切り替えてからキーボード出力すると正しく動作します。

QWERTY入力用のキーボードを有効にするには設定一般-キーボードで英語(日本)-QWERTYを指定します。無い場合は追加します。

操作説明

ディスプレイ

ディスプレイはOLEDで発光して表示されるため、暗い場所でも見ることが出来ます。

文字は小さめですが必要十分な視認性です。小さなディスプレイ、小さな文字のほうが、のぞき見されるセキュリティリスクは低いです。非タッチ式ですので、触らないようにしてください。汚れを除く場合は眼鏡拭きなどで軽く拭いてください。強く押すと破損の恐れがあります。

セキュリティリスクが発生しないように作業後はスリープさせるか、電源をOFFしてください。画面の焼き付き防止にもなります。

ボタン、ジョイスティック

物理ボタンは左下Lボタン、中央下Rボタン、右下SWボタンの3つです。背面にジョイスティックがあります。上下左右にスライドできます。必要以上の力で操作しますと故障の原因となりますので、ご注意ください。

起動

本機はUSBバスパワーで動作します。電池は内蔵されておられません。

MicroUSBデータケーブルをPCと本機(側面)に接続すると起動します。充電専用ケーブルでは画面表示は出来ませんが、キーボード出力が動作しません。

スマートフォンやタブレットは一般的にOTGケーブルでの中継が必要です。その場合USBホスト機能が無い場合はキーボード出力が動作しません。

iOS機は特に電圧不足で動作しない注意画面が出る場合があります。その場合はセルフパワーのハブが必要です。

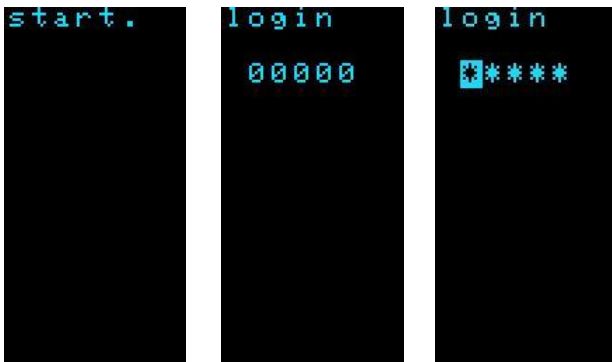
終了、スリープ

login画面で15秒程度操作が無いと画面がOFFになりスリープ状態となります。なにか操作すると画面がONになります。

login画面以外ではスリープしませんのでご注意ください。

ケーブルを抜くことや、ケーブルからの給電が無くなることで本機の電源はOFFとなります。どの画面からでも結構です。

ログイン



起動直後はlogin画面です。同封のマスターパスワードの紙を参照いただき、数字5桁を入力してください。開始時は00000となります。

ジョイスティック上下で数字変更、右下Lボタンでカーソル左移動、中央下Rボタンでカーソル右移動、右下SWボタンで決定です。ジョイスティックは裏面に指を添えて操作します。スティックを横から押すのではなく、上から軽く押しながらスライドさせます。操作中は一時的に数字が見えませんが3秒程度で*記号に変わります。

マスターパスワードは出荷時固定のもので変更できません。個体固有の番号です。

パスワードに間違いがあった場合はfailと表示されて数秒の待ち時間後に再度login画面になります。連続してfailとなるごとに待ち時間が長くなる仕組みです。

loginが成功すると待ち時間はリセットされますが、failの場合は電源OFFしても待ち時間はリセットされません。それにより不正アタックを防止します。

連続失敗によるデータ消去機能はありません。子供のいたずらで重要データが抹消される恐れはありません。

アカウントテーブル



ログインが成功するとアカウントテーブルが表示されます。page1と表示されているのはページ番号です。40ページあります。

ジョイスティックの左右でページ移動ができます。

各ページは6つのアカウントが表示されます。各アカウントはタイトル先頭の16文字(2行)表示されます。ジョイスティックの上下で移動できます。

アカウントは最大240件(40ページx6件)登録できます。

移動後に右下のSWボタンでアカウント画面になります。

左下のLボタンを長押しすることで、ログイン画面に戻ります。この時、直前のカーソル位置が記憶され、次回表示時の位置となります。

ログイン画面だけがスリープ可能ですので、作業後はログイン画面に戻るようにしてください。それによりセキュリティリスクが減ります。

アカウント画面



アカウントの通番が1行目にNOとして表示されます。

アカウント1件につきタイトル(TITLE 32文字),ID(ID 32文字),パスワード1(PWD1 32文字),パスワード2(PWD2 32文字)が登録できます。パスワード1, 2につきましては常に***表示です。

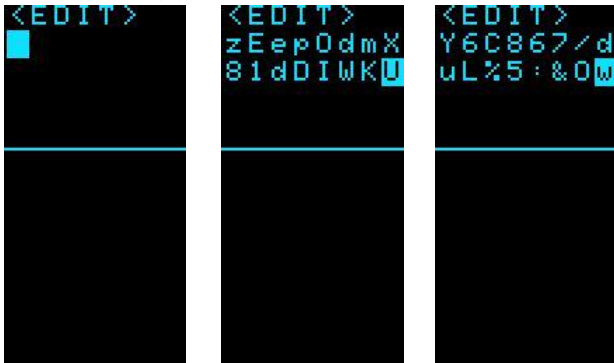
項目をジョイスティック上下でカーソル移動できます。
文字列が登録されている場合は、中央下Rボタンでカーソル位置の項目がキーボード出力されます。
32文字を超える最大64文字のパスワードが必要な場合は、二分して管理する必要があります。
登録可能文字は半角文字のみです。全角文字や改行、タブは登録できません。
Lボタンでアカウントテーブルに戻ります。
SWボタンで編集画面が表示されます。



最大32文字を閲覧、編集する画面です。1行目にEDITと表示されます。

IDやパスワードは16文字の自動生成が可能です。自動生成はカーソルが初期位置(文字が無い状態)でLボタンを押すと実行されます。

IDの自動生成は数字、英小文字、英大文字、または、数字、英小文字の2通りです。



パスワードの自動生成は数字、英小文字、英大文字、記号または、数字、英小文字、英大文字の2通りです。

2通りの生成は実行する度に交代で行います。

手動で文字を入力するにはジョイスティック左右で文字種を選択し、その後ジョイスティック上下で文字を選択します。

文字種は数字、英小文字、英大文字、記号の4種です。

文字が決まりましたらRボタンで右にカーソル移動します。Lボタンはバックスペースで文字を消します。

文字を消さないで左にカーソル移動はできません。

カーソルは画面右端で次の行に移動しますが、改行は実際には入りません。改行は登録できません。

カーソル位置の文字が空白の場合は登録文字の最終がスペースになってますので、ご注意ください。

編集をキャンセルしてアカウント画面に戻るにはSWボタンを押します。

編集を保存してアカウント画面に戻るにはSWボタンを2秒程度長押しします。

バックアップ

バックアップの機能はそれ自体がセキュリティリスクとなるため搭載されておりません。

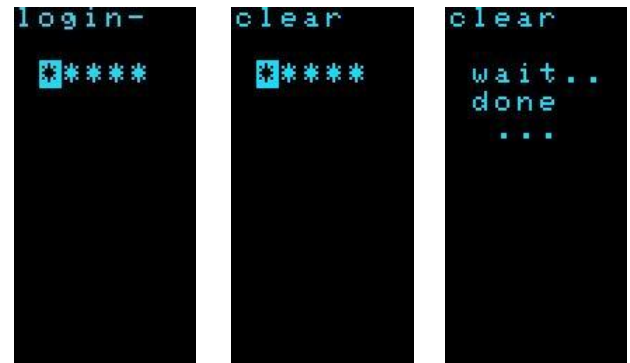
本機を同じアカウント登録で2台同時運用することが望ましいですが、同期やインポートの機能はありませんので手動で同じ編集を行う必要があります。

1台の運用でバックアップが必要な場合は、1項目ごとにキーボード出力してPCに打ち出すのがいいでしょう。

PCに打ち出したデータはファイル保存せずにプリンターで印刷するだけのほうがいいでしょう。

プリンターにもデータを保持されてしまうリスクがあるため、ぜひ本機2台運用をご検討ください。

全データ消去



すべてのデータは暗号化されて保存されますが、本機を破棄する場合は必ず全データ消去を行ってください。

マスターパスワードは消去されません。出荷時の状態に戻りますので再度運用も可能です。

本機を譲渡、転売することはマスターパスワードが変更できないため相手に対して危険な行為ですので控えましょう。

消去手順は、SWボタンを押した状態でケーブルを接続して電源ONします。3秒程度経過後ボタンを離します。

login-とマイナス記号が表示されますので、マスターパスワードでログインします

すると、clear画面になります。

全データを消去していい場合、ここでクリア用パスワード68235を入力してSWボタンを押します。

すると、wait..の表示になり2分程度で全データが消去されます。

doneという表示になると完了です。出荷時の状態に戻りました。

ケーブルを抜いて結構です。

一般的にパソコンのファイル消去は消去フラグを付けるだけで実際のデータは消えていないということがあります。本機の場合は全データをクリアしてます。